

平成28年度 事務事業評価表

事業No. 40

記入日 平成 29 年 6 月 30 日

記入者 氏名 池田淳

1 事務事業の位置付け <Plan ①>

重点	事務事業名	担当課室名	新規・継続	事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分
-	その他特定目的基金積立金	教育委員会事務局	○ 新規 ○ 継続	平成 年度 平成24年度以前	平成 年度 継続予定	ソフト事業(任意)
まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け			第4次総合計画 施策の大綱の位置付け			
基本目標			政 策	政策1. 豊かな未来にいのちが輝くまちづくり		
講ずべき施策			基本施策	基本施策2. 学びあい生きがいもてる地域社会の構築		
主要な取り組み			施 策	施策3. 世界遺産・歴史文化の保全と活用		

2 事務事業の概要 <Plan ②>

対 象 (誰・何を対象として)	吉野山の桜
意 図 (対象をどのような状態にしたいのか)	寄付が適正に積み立てられ、条例に定められた事業に利用できる状態にします。
手 段 (対象を意図する状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	寄付者からの寄付金を適正に積立ます。
役割分担 (まちづくり基本条例に基づき、個人、地域とどのような役割分担をして事業推進したか)	個人レベル 知人・友人に寄付金を呼びかける 町内会レベル 関係団体などに寄付金を呼びかける 自治協レベル 吉野町を代表する文化資源としての桜の重要性を理解し、寄付金への呼びかけを支援します。

3 年度別計画と事業費 <Do ①>

事業期間：平成 28 年度 ~ 平成 32 年度

単位		H28 (決算)	H29 (予算)	H30 (見込)	H31 (見込)	H32 (見込)
総費用		5,064	9,842	8,792	8,792	8,792
費用内訳	直接事業費	千円 4,272	9,050	8,000	8,000	8,000
	人件費	792	792	792	792	792
	(関与人数)	人 0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
財源内訳	特定財源					
	国・県支出金	千円 0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	千円 4,272	9,050	8,000	8,000	8,000
一般財源						
指標1単位あたり費用	関連事業費①	千円				
	指標値②(寄付金額)					
	①÷②	千円				
全体計画	桜の保全のために寄せられた寄付金を適正に積み立てます。広報・周知のための事業は、別の事業で実施します。		桜の保全のために寄せられた寄付金を適正に積み立てます。	桜の保全のために寄せられた寄付金を適正に積み立てます。	桜の保全のために寄せられた寄付金を適正に積み立てます。	桜の保全のために寄せられた寄付金を適正に積み立てます。

4 事業の評価指標 <Do ②>

(上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	基準値 H27年度	H28	H29	H30	H31	H32
寄付額	千円	###	8,700 4,272	9,050	8,000	8,000	8,000
基金残高	千円	29747	31,300 26,906	26,906	26,906	26,906	26,906
取り崩し額	千円	8263	8,700 9,083	9,050	8,000	8,000	8,000

5 事務事業の事後評価 <Check>

評価の視点	項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	継続実施の必要性 (事業廃止による影響はあるか、事業の緊急性や町民のニーズはあるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がややある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	町関与の妥当性 (町が主体で取組むべき事業か。)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がややある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	役割分担の適切性 (「個人」「地域：町内会自治会レベル」「地域：自治協議会レベル」が担える部分はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 検討の余地がややある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	目標・意図の達成度 (評価指標目標値やサービス水準の妥当性を勘案し、意図をどの程度達成しているか。)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	1
	手段の有効性 (現状の手段が最も有効か、他の手段により更に成果向上が図れないか)	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	他団体との連携 (国・県・他市町村、企業、団体等との連携、活用により更に成果向上が図れないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	業務の効率化 (業務手順、内容に見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	投入コストの適切性 (投入するコスト(予算・人件費)は適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	財源の確保 (受益者負担は適正か、国・県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

6 改善及び事務事業の方向性 <Action>

評価者 課室長氏名 森脇 登志男

総合評価と今後の方向性	妥当性				業務改善についての今後の方向性			
		0点	1点	2点	3点			
	有効性・効率性	いずれか0点	D	C	C	C	桜のまち構想事業により周知を行い、桜基金への寄付について、広く呼びかけを行います。 吉野の桜を守る会などの他団体と連携し、事業を実施していきます。	
		いずれか1点	C	C	C	C		
	合計4点	C	C	B	B			
	合計5点	C	B	B	A			
	合計6点	C	B	A	A			
	C 課題が多くあり業務の大幅な見直しが必要							
	前年度評価	B	前々年度評価	B				
成果	投入コスト				成果の方向性		コストの方向性(関与人件費含)	
		皆減	縮小	維持	拡大			
	向上		C	B	A			
	維持		E	D		一人でも多くの寄付を得られるように観光客にも周知をし、指標値に近づけること。		
	縮小		F					
	休廃止	G						
	B 成果向上・費用維持 =				生産性向上		前年施策評価方針 B 成果向上・費用維持	

平成28年度 事務事業評価表

事業No. 41

記入日 平成 29 年 6 月 30 日

記入者 氏名 池田淳

1 事務事業の位置付け <Plan ①>

重点	事務事業名	担当課室名	新規・継続	事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分
-	文化財保存事業	教育委員会事務局	○ 新規 ○ 継続	平成 年度 平成24年度以前	平成 年度 継続予定	ソフト事業(義務・任意) 施設維持管理事業
まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け			第4次総合計画 施策の大綱の位置付け			
基本目標			政策	政策1. 豊かな未来にいのちが輝くまちづくり		
講ずべき施策			基本施策	基本施策2. 学びあい生きがいもてる地域社会の構築		
主要な取り組み			施策	施策3. 世界遺産・歴史文化の保全と活用		

2 事務事業の概要 <Plan ②>

対象 (誰・何を対象として)	町内の指定文化財の所有者並びに吉野町民
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	指定文化財は適切に管理されている状態にし、未指定文化財については、調査等をおこない、必要な措置が行えるようにします。
手段 (対象を意図する状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	<ul style="list-style-type: none"> 指定文化財には、適切な管理のために必要な保全・修復・巡視を行います。 未指定文化財については、調査等をおこない、必要なものについては指定を進めます。 多くの文化財を活用できるように、記録作成を行います。 必要に応じて文化財の公開等もおこないます。
役割分担 (まちづくり基本条例に基づき、個人、地域とどのような役割分担をして事業推進したか)	<ul style="list-style-type: none"> 個人レベル 講演会等に参加し、地域の歴史や文化財に興味を持ち、郷土への愛着を深めます。 町内会レベル 地域の歴史や文化を学習する機会を設けます。 自治協レベル 地域の文化や歴史を学習する機会を設け、地域の歴史文化の保存・継承に努めます。

3 年度別計画と事業費 <Do ①>

		事業期間：平成 28 年度～平成 32 年度						
		単位	H28 (決算)	H29 (予算)	H30 (見込)	H31 (見込)	H32 (見込)	
総費用			9,102	6,998	9,998	11,033	11,033	
費用内訳	直接事業費	千円	5,325	3,183	6,000	7,000	7,000	
	人件費		3,777	3,815	3,998	4,033	4,033	
	(関与人数)	人	0.57	0.57	0.57	0.57	0.57	
財源内訳	特定財源	千円	国・県支出金	339	339	339	339	339
	地方債							
	その他							
	一般財源		8,763	6,659	9,659	10,694	10,694	
指標1単位あたり費用	関連事業費①	千円	9,102	6,998	9,998	11,033	11,033	
	指標値②(活動参加者数)	件	126	126	126	127	127	
	①÷②	千円	72	66	66	87	87	
全体計画	指定文化財は、適切に管理できるように必要な事業を行います。世界遺産の構成文化財は国内法による保護が前提であるため、前掲の指定文化財と同様に扱います。未指定文化財については、調査等をおこない、必要な措置ができるようにします。		指定文化財は、適切に管理できるように必要な事業を行います。世界遺産の構成文化財は国内法による保護が前提であるため、前掲の指定文化財と同様に扱います。未指定文化財については、調査等をおこない、必要な措置		指定文化財は、適切に管理できるように必要な事業を行います。世界遺産の構成文化財は国内法による保護が前提であるため、前掲の指定文化財と同様に扱います。未指定文化財については、調査等をおこない、必要な措置		指定文化財は、適切に管理できるように必要な事業を行います。世界遺産の構成文化財は国内法による保護が前提であるため、前掲の指定文化財と同様に扱います。未指定文化財については、調査等をおこない、必要な措置	

4 事業の評価指標 <Do ②>

(上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	基準値 H27年度	H28	H29	H30	H31	H32
国・県・町の指定・登録・選定の文化財数	件	125	126	126	126	127	127
文化財保護委員会開催数	回	2	3	3	3	3	3
指定文化財への補助金支出件数	件	5	5	5	6	7	7
未公開指定文化財の公開件数	件	1	0	1	1	1	1

5 事務事業の事後評価 <Check>

評価の視点	項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	継続実施の必要性 (事業廃止による影響はあるか、事業の緊急性や町民のニーズはあるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がややある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	町関与の妥当性 (町が主体で取組むべき事業か。)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がややある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	役割分担の適切性 (「個人」「地域：町内会自治会レベル」「地域：自治協議会レベル」が担える部分はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 検討の余地がややある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	目標・意図の達成度 (評価指標目標値やサービス水準の妥当性を勘案し、意図をどの程度達成しているか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	手段の有効性 (現状の手段が最も有効か、他の手段により更に成果向上が図れないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	他団体との連携 (国・県・他市町村、企業、団体等との連携、活用により更に成果向上が図れないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	業務の効率化 (業務手順、内容に見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	投入コストの適切性 (投入するコスト(予算・人件費)は適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	財源の確保 (受益者負担は適正か、国・県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

6 改善及び事務事業の方向性 <Action>

評価者 課室長氏名 森脇 登志男

総合評価と今後の方向性	妥当性				業務改善についての今後の方向性					
			0点	1点	2点	3点				
	有効性・効率性	いずれか0点	D	C	C	C	・今後も所有者などと連携を図り、指定文化財の適切な維持・管理を図ること。 ・未指定文化財についても調査をおこない、必要な情報の発信をおこない、新しい文化資源の掘り起こしを図ること。			
		いずれか1点	C	C	C	C				
		合計4点	C	C	B	B				
		合計5点	C	B	B	A				
		合計6点	C	B	A	A				
	A 業務の内容は適切である									
	前年度評価		A	前々年度評価		A				
			投入コスト				成果の方向性			
		皆減	縮小	維持	拡大	コストの方向性(関与人件費含)				
成果	向上		C	B	A	文化財の保全については、国・県、町、所有者が連携を図ること。 文化財は、経年劣化により継続的に修復等を行う必要があり、必要な財源の確保が求められるので、国・県・所有者と緊密に連携を図り、財源の確保を行うこと。				
	維持		E	D						
	縮小		F							
	休廃止	G								
A 成果向上・費用拡大 = 改善案(予算を増大してでも成果を上げる)				前年施策評価方針						

平成28年度 事務事業評価表

事業No. 42

記入日 平成 29 年 3 月 31 日

記入者 氏名 池田淳

1 事務事業の位置付け <Plan ①>

重点	事務事業名	担当課室名	新規・継続	事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分
-	桜のまち構想事業	教育委員会事務局	新規 ○ 継続	平成 ○ 平成24年度以前	平成 ○ 継続予定	ソフト事業(任意)
まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け			第4次総合計画 施策の大綱の位置付け			
基本目標			政策	政策1. 豊かな未来にいのちが輝くまちづくり		
講ずべき施策			基本施策	基本施策2. 学びあい生きがいがある地域社会の構築		
主要な取り組み			施策	施策3. 世界遺産・歴史文化の保全と活用		

2 事務事業の概要 <Plan ②>

対象 (誰・何を対象として)	吉野町民
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	吉野町民が、吉野を代表する文化遺産である桜を自ら管理・保全し、誇れる対象とします。
手段 (対象を意図する状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	吉野町民を含めた吉野山桜の学校を設置し、ここで桜に対する施策を実施します。吉野山桜の学校の運営並びに桜の施策は、地元の吉野山保勝会に移管し、吉野町は、財政面・人事面で支援します。
役割分担 (まちづくり基本条例に基づき、個人、地域とどのような役割分担をして事業推進したか)	個人レベル 講演会等に参加し、地域の歴史や文化財に興味を持ち、郷土への愛着を深めます。 町内会レベル 地域の文化や歴史を学習する機会を設けます。 自治協レベル 地域の歴史や文化を学習する機会を設け、地域の歴史文化の保存と継承に努めます。

3 年度別計画と事業費 <Do ①>

事業期間：平成 28 年度～平成 32 年度

単位		H28 (決算)	H29 (予算)	H30 (見込)	H31 (見込)	H32 (見込)
総費用		11,428	11,027	9,980	9,980	9,980
費用内訳	直接事業費	千円 9,083	9,047	8,000	8,000	8,000
	人件費	2,345	1,980	1,980	1,980	1,980
	(関与人数)	人 0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
財源内訳	特定財源					
	国・県支出金	千円 0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	9,083	9,047	8,000	8,000	8,000
	一般財源	2,345	1,980	1,980	1,980	1,980
指標1単位あたり費用	関連事業費①	千円 11,428	11,027	9,980	9,980	9,980
	指標値②(活動参加者数)	本 179	130	130	150	150
	①÷②	千円 63	85	77	67	67
全体計画	吉野山保勝会に対して補助金を支出し財政面・人的に支援します。この体制を継続的な維持することで、吉野山の桜を適切に保全します。		吉野山保勝会に対して補助金を支出して財政面等で支援します。	吉野山保勝会に対して補助金を支出して財政面等で支援します。	吉野山保勝会に対して補助金を支出して財政面等で支援します。	吉野山保勝会に対して補助金を支出して財政面等で支援します。

4 事業の評価指標 <Do ②>

(上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	基準値 H27年度	H28	H29	H30	H31	H32
桜への施策本数	本	109	120 179	130	130	150	150
吉野山桜の学校の開催数	回	2	2 2	2	2	2	2
吉野山桜の学校の参加団体数	団体	10	10 10	10	10	10	10
吉野山桜の学校のニュースレターの発行数	回	1	1 1	1	1	1	1

5 事務事業の事後評価 <Check>

評価の視点	項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
継続実施の必要性 (事業廃止による影響はあるか、事業の緊急性や町民のニーズはあるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	吉野山の桜は、吉野町を代表する文化遺産であり、それを吉野町が主体的に保全する体制を維持することが必要です。	3
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
町関与の妥当性 (町が主体で取組むべき事業か。)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	吉野山の地元の公益財団法人である吉野山保勝会が吉野山の桜の保全を担う体制は妥当です。吉野町の財政的・人的支援も適切です。	3
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
役割分担の適切性 (「個人」「地域：町内会自治会レベル」「地域：自治協議会レベル」が担える部分はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である	吉野山の桜への直接的な施策を吉野山保勝会が担い、吉野町が財政的・人的に支援する体制は適切に運用されています。	3
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
目標・意図の達成度 (評価指標目標値やサービス水準の妥当性を勘案し、意図をどの程度達成しているか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	吉野山の桜への直接的な施策を吉野山保勝会が担い、吉野町が財政的・人的に支援する体制は適切に運用されています。	3
	<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った		
	<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った		
手段の有効性 (現状の手段が最も有効か、他の手段により更に成果向上が図れないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である	吉野山保勝会による桜に対する施策本数は、年度当初の計画数を上回っています。	3
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
他団体との連携 (国・県・他市町村、企業、団体等との連携、活用により更に成果向上が図れないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である	奈良県はじめ吉野山の桜に関わりを持つ幅広い団体が参加して吉野山桜の学校を組織しており、他団体との連携は良好にとられて、且つ情報も共有されています。	3
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
業務の効率化 (業務手順、内容に見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である	吉野山保勝会は民間団体であり、民間主導で効率的に業務が遂行されています。	3
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
投入コストの適切性 (投入するコスト(予算・人件費)は適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である	吉野山保勝会は、自己財源も投入して事業を推進しており、効率的に事業が実施されています。	3
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
財源の確保 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である	吉野山の桜を守る会などから桜の保全のための寄付金が寄せられ、必要な財源は確保されています。	3
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

6 改善及び事務事業の方向性 <Action>

評価者 課室長氏名 森脇 登志男

総合評価と今後の方向性	妥当性					業務改善についての今後の方向性	
	0点	1点	2点	3点			
	有効性・効率性	いづれか0点 D	C	C	C	吉野山保勝会による桜への施策本数については、指標を大きく上回りました。引き続き吉野山保勝会を支援し、奈良県や他団体と連携しながら桜の学校を開催し、文化遺産である桜の保全を行います。桜基金への寄付について、広報・周知を行います。	
A	業務の内容は適切である						
	前年度評価 B	前々年度評価 B					
成果	投入コスト					成果の方向性	コストの方向性(関与人件費含)
	皆減 縮小 維持 拡大						
	向上	C B A				吉野山の桜への施策・管理を行い、桜を健全に保つこと。	吉野山の桜の施策を担っている吉野山保勝会への支援を継続すること。
	維持	E D					
	縮小	F					
休廃止	G						
D	成果・費用とも維持 =					現状維持	前年施策評価方針 B 成果向上・費用維持

平成28年度 事務事業評価表

事業No. 43

記入日 平成 29 年 3 月 31 日
 記入者 氏名 池田淳

1 事務事業の位置付け <Plan ①>

重点	事務事業名	担当課室名	新規・継続	事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分
-	吉野万葉整備活用事業	教育委員会事務局	○ 継続	平成 25 年度	平成 35 年度	建設・整備事業 計画などの策定
まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け			第4次総合計画 施策の大綱の位置付け			
基本目標			政 策	政策1. 豊かな未来にいのちが輝くまちづくり		
講ずべき施策			基本施策	基本施策2. 学びあい生きがいもてる地域社会の構築		
主要な取り組み			施 策	施策3. 世界遺産・歴史文化の保全と活用		

2 事務事業の概要 <Plan ②>

対 象 (誰・何を対象として)	史跡宮滝遺跡・吉野歴史資料館の利用者
意 図 (対象をどのような状態にしたいのか)	史跡宮滝遺跡・吉野歴史資料館などを計画的に整備し、地域の歴史や文化を積極的に学ぶことができるようにします。
手 段 (対象を意図する状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	史跡宮滝遺跡の整備のために、発掘調査等の事業を実施しました。
役割分担 (まちづくり基本条例に基づき、個人、地域とどのような役割分担をして事業推進したか)	個人レベル 講演会等に参加し、地域の歴史や文化財に興味を持ち、郷土への愛着を深めます。 町内会レベル 地域の文化や歴史を学習する機会を設けます。 自治体レベル 地域の文化や歴史を学習する機会を設け、地域の歴史文化の保存・継承に努めます。

3 年度別計画と事業費 <Do ①>

		事業期間：平成 28 年度～平成 32 年度						
		単位	H28 (決算)	H29 (予算)	H30 (見込)	H31 (見込)	H32 (見込)	
総費用			10,472	10,451	11,119	11,119	11,570	
費用内訳	直接事業費	千円	5,087	5,066	5,734	5,734	6,185	
	人件費		5,385	5,385	5,385	5,385	5,385	
	(関与人数)	人	0.68	0.68	0.68	0.68	0.68	
財源内訳	特定財源	千円	国・県支出金	4,069	5,317	3,727	3,727	4,020
	地方債							
	その他							
	一般財源		6,403	5,134	7,392	7,392	7,550	
指標1単位あたり費用	関連事業費①	千円	10,472	10,451	11,119	11,119	11,570	
	指標値②(活動参加者数)	人	3,625	3,500	4,000	4,000	5,000	
	①÷②	千円	3	4	3	4	22	
全体計画	史跡宮滝遺跡並びに吉野歴史資料館を整備し、ふるさと学習の場として活用できるようにします。また、史跡宮滝遺跡や吉野歴史資料館の来訪者を増加させ、地域の活性化を図ります。平成28年度は、遺跡整備のための発掘調査を実施しました。		遺跡整備のための発掘調査を実施するとともに、基本計画策定のための素案を策定します。		遺跡整備のための基本設計を策定するとともに、発掘調査の報告書を作成します。		遺跡整備のための実施計画を策定します。	

4 事業の評価指標 <Do ②>

(上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	基準値 H27年度	H28	H29	H30	H31	H32
吉野歴史資料館の利用者数	人	##	3,500 3,625	3,500	4,000	4,000	5,000

5 事務事業の事後評価 <Check>

評価の視点	項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	継続実施の必要性 (事業廃止による影響はあるか、事業の緊急性や市民のニーズはあるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がややある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	町関与の妥当性 (町が主体で取組むべき事業か。)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がややある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	役割分担の適切性 (「個人」「地域」「町内会自治会レベル」「自治協議会レベル」が担える部分はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 検討の余地がややある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	目標・意図の達成度 (評価指標目標値やサービス水準の妥当性を勘案し、意図をどの程度達成しているか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	手段の有効性 (現状の手段が最も有効か、他の手段により更に成果向上が図れないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	他団体との連携 (国・県・他市町村、企業、団体等との連携、活用により更に成果向上が図れないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	業務の効率化 (業務手順、内容に見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	投入コストの適切性 (投入するコスト(予算・人件費)は適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	財源の確保 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

6 改善及び事務事業の方向性 <Action>

評価者 課室長氏名 森脇 登志男

総合評価と今後の方向性	妥当性				業務改善についての今後の方向性			
		0点	1点	2点	3点			
	有効性・効率性	いずれか0点	D	C	C	C	・宮滝遺跡整備のための発掘調査を続けるとともに、基本計画策定のための素案を作成します。 ・吉野万葉整備活用検討委員会を開催し、委員から事業推進に当たっての指導・助言を頂きます。 ・広報活動として、資料館だより「たぎつみやどころ」を年2回刊行します。	
		いずれか1点	C	C	C	C		
	合計4点	C	C	B	B			
	合計5点	C	B	B	A			
	合計6点	C	B	A	A			
A 業務の内容は適切である								
前年度評価	A		前々年度評価		A			
成果	投入コスト				成果の方向性		コストの方向性(関与人件費含)	
		皆減	縮小	維持	拡大			
	向上		C	B	A	文化庁、奈良県と協議の上、遺跡整備の計画に沿って事業を進めること。		
	維持		E	D				
縮小		F						
休廃止	G							
D 成果・費用とも維持 =							現状維持	前年施策評価方針

平成28年度 事務事業評価表

事業No. 44

記入日 平成 29 年 3 月 31 日
 記入者 氏名 池田淳

1 事務事業の位置付け (Plan ①)

重点	事務事業名	担当課室名	新規・継続	事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分
-	歴史資料館管理運営事業	教育委員会事務局	新規 ○ 継続	平成 8 年度 ○ 平成24年度以前	平成 年度 ○ 継続予定	ソフト事業(任意)
まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け			第4次総合計画 施策の大綱の位置付け			
基本目標			政策	政策1. 豊かな未来にいのちが輝くまちづくり		
講ずべき施策			基本施策	基本施策2. 学びあい生きがいがある地域社会の構築		
主要な取り組み			施策	施策3. 世界遺産・歴史文化の保全と活用		

2 事務事業の概要 (Plan ②)

対象 (誰・何を対象として)	吉野歴史資料館の利用者及び講演会等の利用者
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	地域の文化遺産を学び、ふるさと意識の高揚を図るとともに、町外在住者には、吉野町を知り、継続的に来町して頂けるようにします。
手段 (対象を意図する状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	吉野歴史資料館の常設展示を適切に維持し、講演会などを継続的に実施できる機能の維持と充実に努めるとともに、資料館たよりを継続的に刊行して情報の発信を図ります。
役割分担 (まちづくり基本条例に基づき、個人、地域とどのような役割分担をして事業推進したか)	個人レベル 講演会等に参加し、地域の歴史や文化財に興味を持ち、郷土への愛着を深めます。
	町内会レベル 地域の文化や歴史を学習する機会を設けます。
	自治協レベル 地域の文化や歴史を学習する機会を設け、地域の歴史文化の保存や継承に努めます。

3 年度別計画と事業費 (Do ①)

		事業期間：平成 28 年度～平成 32 年度				
	単位	H28 (決算)	H29 (予算)	H30 (見込)	H31 (見込)	H32 (見込)
総費用		8,083	6,663	6,668	6,668	6,668
費用内訳	直接事業費	千円 4,915	3,495	3,500	3,500	3,500
	人件費	3,168	3,168	3,168	3,168	3,168
	(関与人数)	人 0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
	財源内訳	千円				
特定財源	国・県支出金					
	地方債					
	その他	578	813	800	800	900
一般財源	7,505	5,850	5,868	5,868	5,768	
指標1単位あたり費用	千円	8,083	6,663	6,668	6,668	6,668
	人	3,625	3,500	4,000	4,000	5,000
	千円	2	2	2	2	1
全体計画	吉野歴史資料館を適切に維持・運営し、講演会等の事業を積極的に実施します。	吉野歴史資料館を適切に維持・運営し、講演会等の事業を積極的に実施します。	吉野歴史資料館を適切に維持・運営し、講演会等の事業を積極的に実施します。	吉野歴史資料館を適切に維持・運営し、講演会等の事業を積極的に実施します。	吉野歴史資料館を適切に維持・運営し、講演会等の事業を積極的に実施します。	吉野歴史資料館を適切に維持・運営し、講演会等の事業を積極的に実施します。

4 事業の評価指標 (Do ②)

(上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	基準値 H27年度	H28	H29	H30	H31	H32
吉野歴史資料館の開館日数	日	147	147	147	147	147	147
吉野歴史資料館の利用者数	人	3231	3,500	3,500	4,000	4,000	5,000
吉野歴史資料館主催の講演会等の開催回	回	57	60	65	65	70	70
町の語り部養成人数	人	0	2	3	4	6	6

5 事務事業の事後評価 (Check)

評価の視点	項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
継続実施の必要性 (事業廃止による影響はあるか、事業の緊急性や町民のニーズはあるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	吉野歴史資料館の運営は、史跡宮滝遺跡整備活用事業と一体で進めるべきであり、遺跡整備の効果的な執行のためにも継続的に維持する必要があります。	2
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
町関与の妥当性 (町が主体で取組むべき事業か。)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	吉野歴史資料館には、他施設から借用している資料もあり、責任の所在を明確にするためにも吉野町が直営する現行の体制が適切です。	2
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
役割分担の適切性 (「個人」「地域：町内会自治会レベル」「地域：自治協議会レベル」が担える部分はないか)	<input type="checkbox"/> 適正である	吉野歴史資料館を吉野町が直営で維持・運営をしながら、事業の一部を他の組織に支援を求めるとも検討すべきで、中庄まちづくり協議会との連携を検討しています。	2
	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
目標・意図の達成度 (評価指標目標値やサービス水準の妥当性を勘案し、意図をどの程度達成しているか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	吉野歴史資料館の利用者数は、ほぼ目標を達成していますが、更に目標値を高めその目標を達成することが求められています。	2
	<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った		
	<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った		
手段の有効性 (現状の手段が最も有効か、他の手段により更に成果向上が図れないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である	吉野歴史資料館の運営や活用には、専門的知識や技能が必要ですので、現行の手段での運営が適切です。	2
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
他団体との連携 (国・県・他市町村、企業、団体等との連携、活用により更に成果向上が図れないか)	<input type="checkbox"/> 適正である	他の博物館等との連携や地域の団体との連携を模索し、近鉄文化サロン並びに三重県立熊野古道センターと連携をおこないました。	3
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
業務の効率化 (業務手順、内容に見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である	吉野歴史資料館は、土日祝日の開館(来館者の減少期の12月～2月は冬季休館)体制で運営しており、効率的な運営を行っています。	3
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
投入コストの適切性 (投入するコスト(予算・人件費)は適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である	吉野歴史資料館は、勤務人数の精査もおこない、人件費の抑制も図りました。	3
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
財源の確保 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である	講演会などの活動に対しては、参加費等受益者負担を適正に求めています。	3
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

6 改善及び事務事業の方向性 (Action)

評価者 課室長氏名 森脇 登志男

総合評価と今後の方向性	有効性・効率性	妥当性					業務改善についての今後の方向性 ・歴史資料館の運営は、史跡宮滝遺跡整備活用事業と一体であるため宮滝遺跡の整備計画のためにも積極的な情報発信を行っていきます。 ・中庄まちづくり協議会などの他団体と連携を図るため資料館長をアドバイザーとして派遣し、将来的な活用のための検討をします。 ・他の博物館や地域の団体との連携をさらに進めます。	
		0点	1点	2点	3点			
		いづれか0点	D	C	C	C		
		いづれか1点	C	C	C	C		
		合計4点	C	C	B	B		
		合計5点	C	B	B	A		
	B 課題が少しあり業務の一部見直しが必要							
	前年度評価	B	前々年度評価	A				
	成果	投入コスト					成果の方向性 ・歴史資料館の適切な維持管理をおこない、講演会等の開催や、資料館たよりの発行を通して、利用者数の増加に努めること。	
		皆減 縮小 維持 拡大						
向上			C	B	A			
維持			E	D				
休廃止	縮小		F					
	休廃止	G						
B 成果向上・費用維持 =					生産性向上	前年施策評価方針		